

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課	■担当係	文化財係
■評価事業名称	収蔵資料等公開事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	400600 - 109	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	文化財保護法		
■関連計画の名称	北上市総合計画実施計画、北上市教育振興基本計画		
■事業の目的と概要	○埋蔵文化財展・発掘調査報告会等、市内で実施された発掘調査の成果に関する公開事業の開催。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	資料等公開事業	市民、関係機関	○写真展 ○センター公開 ○現地説明会 ○埋蔵文化財展 ○発掘調査報告会 ○埋蔵文化財講演会 ○出前講師	○写真展(3会場・3カ月間) ○センター公開(2日間・65人) ○埋蔵文化財展(25日間・1028人) ○発掘調査報告会(125人) ○埋蔵文化財講演会(125人) ○出前講師(11件)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	309	397	435	365	
人件費	5,769	6,650	5,443	4,697	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,078	7,047	5,878	5,062	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	埋蔵文化財展	入場者473人	入場者522人	入場者341人	入場者1,028人	埋蔵文化財展入場者数
02	出前講師	8件	7件	13件	11件	出前講師開催件数
03	講演会・報告会	入場者91人	入場者74人	入場者108人	入場者125人	埋蔵文化財講演会・発掘調査報告会入場者数

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

埋蔵文化財展の入場者数の増加は開催日数が
増えたことによる増加と考えられる。

問題点・課題等

適当な開催時期に集客を見込める会場の確保
ができない。また、魅力ある企画を継続するた
めの職員体制の確保が難しい。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

情報発信の場として継続実施が必須であり、入場者等が増えるよう
な開催の手法を検討する。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了